

(こども・若者意識調査)ご意見一覧・対応表

資料 4 - 9

①こども意識調査

設問No.	内容詳細・理由・考え方等	対応	若者向け 共通
区分	15才までの義務教育の内は学校とのつながりにおいて支援できるが、卒業してしまうと本人の状況の把握が難しいと学校の先生から伺ったことがあり、本人を取り巻く環境の変化の状況や16才から働いている人もいることを考慮に入れると、子ども本人向け意識調査は15才までとしてはどうか。	成人年齢が18歳であり、18歳未満の子どもは保護者の庇護下にあるという前提の元、こども/若者の区切りを18歳(※4月1日時点)としております。	○
全体	女性の自己肯定感の低さや居場所・あり方等についての男女のニーズの違い、非正規割合の男女差等の観点から、支援の方策などに性差を考慮した対応が必要ではないかと感じる。以下の項目について、性別とクロスを行った方が良い。 【こども】6.7.8.15【若者】7.8.9.18.19.20	性別・年齢についてのクロス集計は全ての項目で行う想定でおります。なお、男女の差が顕著な項目等については、報告書にも記載し、次期計画策定にかかる課題検討に用いたいと考えております。	○
全体	「進路、就職、行政の窓口、医療、両立、伝統芸能」という言葉は小学生にはわかり辛く感じるかもしれない。	調査票を2種類に分け、低年齢層向けの調査票についてより平易な表現を検討・調整いたします。	
2	R5年4月1日時点での年齢を尋ねるのであれば、「何さい（何年生）」よりも「何年生（何さい）」の方が間違いが減ると思います。もちろん、16歳以上を想定すると現状の方が適切なのですが。	設問を「あなたは何年生、または何歳ですか。」とし、選択肢を修正いたしました。	
4	例えば日中、図書館で過ごしているような子どもがいたとすると、適当な選択肢がないように思いました。「遊びに出かけている」を「公園や図書館などに外出している」と「友達や知人の家で過ごしている」などに分けてもよいかもしれません。	「遊びに出かけている」を「外出している(学校・仕事以外)」に修正いたしました。	
6	No4で「アルバイト・仕事をしている」という選択肢があるので、「職場やアルバイト先」という選択肢があってもよいかもしれません。「その他」に入れ込んでしまうのもいいですが。	選択肢に「職場やアルバイト先」を追加いたしました。	
8	「自分は必要とされている」「自分は周りの人から好かれている」といった質問だと回答しづらいのであくまでも本人の主観を尋ねる意味で「自分は必要とされていると感じる」「自分は周りの人から好かれているように思う」というようにした方がよいかと思います。	「自分は必要とされている」「自分は周りの人から大切にされている」「自分は周りの人から好かれている」の選択肢の末尾に、「と感じる」の文言を追加しました。	○
8	あるいは、これら7項目の設定理由次第ですが、既存の自己肯定感尺度などを活用すると、関連する研究との比較が可能にはなります。例えば山本ほか(1982)の自尊感情尺度10項目などは心理学領域でよく活用されています。逆に項目を減らしたいのであれば、個人的には、「勉強やスポーツ、部活や趣味などをがんばっている」という項目はなくてもよいかなと思います。	現在の調査項目は、国や他都市で実施した調査を参考に、こども大綱に盛り込まれると想定される「自己肯定感」や「自己有用感」のデータを取ることが出来るように設定したものです。項目については、ご意見を踏まえ引き続き検討させていただきます。	

設問No.	内容詳細・理由・考え方等	対応	若者向け 共通
9	教示文で「楽しいことはどれくらいありますか」と尋ねているので、選択肢は、「いつも楽しいと感じている」「ときどき——」「」どちらともいえない」「あまり——」「まったく、楽しいと思うことはない」とそろえた方が良くと思います。	5番目の選択肢について「楽しいと感じることはまったくない」に修正いたしました。1番目の選択肢については、「いつも」とした場合に当該選択肢を選ぶハードルが非常に高くなると想定されるため、現行のままとしたいと思います。	
10	具体の施策に反映することを踏まえると、悩みごとについて内容がわかるような詳細な設問を入れてはどうか。（例：仙台市女性の暮らしと困難に関する実態調査（令和4年度）問8、16、25など）	子どもの悩みに関する設問は、子ども・若者育成支援大綱で示されている「主体的に他者に相談し支援を求められるよう適切に他者に頼る意識・態度」が育まれているかという点を最も重視しており、悩みごとの内容に関しては、大まかな分類を把握することで足りるものと考えております。	○
11	選択肢変更か追加かわかりませんが、「誰にも相談したくない」があってもよいかもしれません。	相談先の現状(実態)を問う設問であるため、「誰にも相談しない」の形で選択肢を設けております。ニュアンスは少々異なりますが、「誰にも相談したくない」場合はこの選択肢を選んでいただくことを想定しております。	
13	「仙台市には、子どもたちが困ったり悩んだりしたときに相談できるところが以下のようにあります。あなたが知っている相談先に○をつけてください。」	設問文を「仙台市には、子どもたちが困ったり悩んだりしたときに相談できる場所があります。あなたが知っている相談先に○を付けてください」と修正しました。	
16	選択肢に「ゆめや目標実現のための手助け(具体的には送迎など)をしてほしい」という項目があるといい。	選択肢に「ゆめや目標実現のための手助け(送迎など)をしてほしい」を追加しました。なお、例示する具体例等については今後検討・調整してまいりたいと思います。	
19	「子どもを持ちたい」とするのではなく、「子育てをしたい」かどうかを聞いてもよいかなとは思いました。「持つ」ニュアンスを含めるのであれば、「自分の子どもを育てたいと思うかどうか」とすれば良いかなとは思いました。	子どもについては、「子育てをしたいか」を問われたときにイメージを持ち辛いのではと考え、将来設計として子どもを持ちたいかを問う形にしています。	
21	スポーツ少年団は習い事に含まれるかどうか判断に迷うので、明記した方がよい。	問21、22について、選択肢の「スポーツ活動」を「スポーツ活動(スポーツ少年団を含む)」に修正しました。また、設問の表現にずれがあったため、統一を行いました。	
21	「ゲームやアニメ等のイベント」という表現は、企業が実施しているようなものが想起される。地域活動関係の選択肢としてあまりそぐわないのでは。	選択肢を「ゲームやアニメ等の文化に親しむ活動」と修正いたしました。	

設問No.	内容詳細・理由・考え方等	対応	若者向け 共通
新規	項目は増やせないので難しいところですが、子どもの貧困やヤングケアラー問題を拾い上げるために基礎的な生活習慣の満足度について尋ねることもできるといいかなとは思いました。例えば、「あなたは以下のような毎日の生活のことについて、どのように感じていますか」と尋ねて、項目は「a毎日しっかりとご飯を食べている、b.毎日しっかりと眠れている、c.毎日、朝起きて夜眠る規則正しい生活をしている」などを「あてはまるーあてはまらない」の4件法で回答するなど。	本調査は、こども基本法に基づきこども意見を施策に取り入れていくことを主目的としており、本調査で個別の問題について詳細まで掘り下げることにはしない想定です。 なお、子どもの貧困やヤングケアラーに関する調査は別途実施しており(令和3年度)、それらの調査結果も活用しながら、次期計画策定を進めてまいります。	

②若者意識調査

設問No.	内容詳細・理由・考え方等	対応
全体	5段階で回答を求めるものについて、問7.問11は「あてはまる」「よくしている」が1に該当するが、問12は「決してない」が1である。設問によって(選択肢のプラスマイナスの並びが)異なるのはよろしくないのでは。	選択肢の並び順は統一させる方向で、今後調査票の細部を詰めてまいります。
3	「配偶者の子」の選択肢を追加。	実子のみが選択肢の対象になると受け取られないよう、選択肢の「あなたの子」を「子ども」と修正いたしました。また、選択肢の「あなたの配偶者」を「配偶者」に修正し、「配偶者の父母」を追加いたしました。 問4の選択肢について、「あなたの配偶者」を「配偶者」に、「あなたの子」を「子ども」に修正いたしました。
6	No5で満足していない人たちに限定して尋ねていますが、No6を「生活の満足度の理由」として、全員に回答してもらうやり方もあるかと思いました。	満足している人には満足している要素を、不満な人には不満に感じている原因を問う設問に修正いたしました。また、問5の選択肢のうち「どちらでもない」を削除いたしました。
6	選択肢に「趣味や余暇」があってもよいかもしれません。	選択肢を追加いたしました。
8	居場所を聞いている設問のため「友人・交際相手」はそぐわないのでは。	選択肢を「友人・交際相手の家」と修正いたしました。
12	・「決してない」→「まったくない」 ・枝1の「自分には人とのつきあいがないと感ずることがある」は日本語として変。 →「自分は人と付き合うことがないと感じる」など適切な表現を検討ください。 ・枝1～3の「ことがある」は削除	・「決してない」を「まったくない」に修正いたしました。 ・枝1につきまして【「自分には人とのつきあいがない」と感じる】に修正いたしました。 ・枝1～3の「～ことがある」につきましては、削除いたしました。
13	各選択肢の「のこと」が不要	削除いたしました。
15	エル・パーク仙台(女性相談)→エル・ソーラ仙台(女性相談) ※エル・パーク仙台に相談窓口はない。	選択肢を修正いたしました。
16	設問の表現は、「～どのような相談窓口なら、相談したいと思いますか」では。	設問の表現を修正いたしました。
18	職位を問う必要がなければ、「会社などの役員」は不要。	雇用している立場の方が回答する際の選択肢になると考えております。

設問No.	内容詳細・理由・考え方等	対応
19	各選択肢の「ため」は不要	削除いたしました。
20	選択肢の順番について検討してほしい。「不規則な…」は最初ではない方がよい。	当選択肢は、相談者の状況に応じた就労支援を段階的に記載することを意図した並び順としております。
21	変更の意見ではありませんが、なぜこの6項目をリッカート形式で尋ねるのが不思議です。こども意識調査と同じように、チェックリスト方式でイメージの有無を尋ねるのではダメなのでしょうか。あるいは、量的に他の変数との関連を検討する予定であればこのままでないといけないとは思いますが。	こども意識調査の対象者に比べて、より具体的に結婚を考える世代であることから、結婚に対するイメージや考え方について、程度までお伺いしたいと考えております。